

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち						
施策 No.	28	施策名	地域で支えあう福祉社会の推進						
主管課名	社会福祉課								
関係課名	生涯学習・スポーツ課、健康センター								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えて相互に理解と協力をもって連携し、支えあって生活しています。 ・市民が地域活動推進のため、お互い協力して福祉活動に参加しています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地 域等への期待 など	市 民 事 業 所	・ボランティア活動に取り組みます。							
	行 政	・地域での自主的・自発的な福祉活動に対し、支援を行います。							
	そ の 他 (地 域)	・近所同士が助けあいをして、見守り活動に取り組みます。							
施策を実行する うえで基本とな る事業	基本事業①	地域福祉活動支援							
	基本事業②	見守り支援体制の確立							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	7 (7)	10 (9)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	8 (8)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	7 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	25,508	28,844	32,464	42,691	28,247	35,023
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	21,267	24,515	23,287	33,392	23,972	30,787
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	4,241	4,329	9,177	9,299	4,275	4,236
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	8	16	14	13	13	14	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	3,020	4,340	3,540	3,240	3,370	3,640	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	12,627	17,842	14,256	12,999	14,673	16,132	
F. トータルコスト（B+E）		千円	38,135	46,686	46,720	55,690	42,920	51,155	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）		円	591	675	767	1,013	678	850
	同 上		円	293	418	337	309	352	391
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	884	1,093	1,103	1,322	1,030	1,241
	同 上		円						
	I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円						
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	28	施策名	地域で支えあう福祉社会の推進
基本事業名	①地域福祉活動支援		
基本事業の目的(意図)	地域でのボランティア活動が自主的、自発的に行われ、地域福祉の充実が図られています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【民生委員事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員に対する費用弁償の支給及び活動を推進する協議会に対しての助成を行いました。また、市民生委員児童委員協議会事務局として活動の支援を行いました。 ・1月上旬の大雪の際は、民生委員に臨時の安否確認活動を依頼しました。 <p>【地域総合福祉推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会が行う地域福祉強化事業、地域ボランティア活性化事業への補助金5,200千円を交付しました。 ・地域総合福祉ケアネットセンターを運営する市社会福祉協議会への補助金1,950千円を交付しました。 ・市社会福祉協議会と連携・協力して地域福祉各種事業の推進に取り組みました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
民生委員の相談支援件数	件	1,527	1,974	1,985	2,100 2,037	2,150 2,070	2,200 1,948	2,250 1,727	2,300 2,122
ボランティア登録者数	人	3,314	3,617	3,811	3,900 3,819	4,000 3,890	4,100 2,690	4,200 2,430	4,300 2,361

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	社会福祉一般管理費	12,341,000	9,114,919	3,226,081	-	社会福祉課
2	一般会計	○ 民生委員事業	10,168,000	9,762,047	405,953	A	社会福祉課
3	一般会計	○ ボランティア活動支援事業	353,000	353,000	0	B	社会福祉課
4	一般会計	○ 地域総合福祉推進事業	11,115,000	11,115,000	0	A	社会福祉課
5	一般会計	地域福祉計画推進委員会事業	96,000	0	96,000	-	社会福祉課
6	一般会計	戦没者事業	443,034	442,384	650	-	社会福祉課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			34,516,034	30,787,350	3,728,684		

基本事業概要シート②

施策 No.	28	施策名	地域で支えあう福祉社会の推進
基本事業名	②見守り支援体制の確立		
基本事業の目的(意図)	町内会などを中心とした地域での見守り体制が充実し、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者とその家族への支援が図られています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【高齢者見守りネットワーク推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会に委託して福祉推進員の確保・登録及び活動に必要な研修を実施しました。 ・地域住民による高齢者の見守り活動を担う地区社協主催の地域ケア会議へ31回参加しました。 <p>【認知症総合支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症についての正しい知識を持ち、認知症高齢者本人やその家族の「身近な理解者」や「見守りの担い手」となる応援者となる認知症サポーター養成講座を2回実施しました。 ・いざというときの迅速な捜索のための認知症高齢者事前登録制度である徘徊高齢者SOSネットワーク事業を実施し、登録数は117人となりました。 ・認知症高齢者を介護する家族の相談場所として「介護家族の集い」、本人を含めた社会交流の場として「認知症カフェ」を開催しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
認知症サポーター数(累計)	人	1,160	2,712	3,229	3,500 3,772	3,900 4,033	4,300 4,635	4,700 5,058	5,100 5,119
見守り実施者数	人	1,043	1,110	1,100	1,200 1,007	1,300 1,100	1,400 1,144	1,500 1,108	1,600 1,023

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	介護保険事業特別会計	○ 高齢者見守りネットワーク推進事業	3,545,000	3,545,000	0	A	社会福祉課
2	介護保険事業特別会計	○ 認知症総合支援事業	11,832,000	691,124	11,140,876	B	社会福祉課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			15,377,000	4,236,124	11,140,876		

施策 No.	28	施策名	地域で支えあう福祉社会の推進
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①地域福祉活動支援】</p> <p>◆民生委員の相談支援件数は、令和2年度は2,122件となり、前年度より395件増加しました。なお新型コロナウイルス感染症の予防対策の徹底が図られたことにより、コロナ禍前の水準に戻りました。また、ボランティア登録者数は、令和2年度は2,361人と前年度より69人減少しました。これは登録団体の中の企業の労働者の減員によるものです。</p> <p>【②見守り支援体制の確立】</p> <p>◆認知症サポーター数は、平成22年度から積極的に養成講座を開催した効果により、平成22年度1,160人のスタートから令和2年度5,119人と順調に増加しています。</p> <p>◆見守り実施者数は、平成28年度以降1,100人前後で推移しています。対象者の施設への入所などによる増減がありますが、民生委員・福祉推進員が中心となって適切な見守り活動が実施できるよう支援しています。</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①地域福祉活動支援】</p> <p><地域総合福祉推進事業></p> <p>◆民生委員や地域住民のボランティアの福祉活動が、自主的・自発的に行えるよう、市社会福祉協議会や地域と連携して活動支援を行いました。その結果、地域の課題解決、地域福祉の充実につながりました。</p> <p>【②見守り支援体制の確立】</p> <p><認知症施策総合推進事業></p> <p>◆認知症サポーター養成講座を引き続き実施しました。令和2年度は、認知症サポーター養成講座を小学校での定期開催のほか、スーパーマーケット等で3回開催したことで、サポーターが5,119人(前年比61人の増加)となり、地域での認知症の正しい理解促進につながりました。</p> <p>◆認知症の本人とその家族、地域住民等の誰もが参加できる認知症カフェの開催及び介護相談を行うとともに、医療機関の協力のもと市役所で月1回、認知症無料相談を実施し、相談支援の充実が図られました。</p> <p>◆徘徊高齢者SOSネットワーク事業は、介護支援専門員(ケアマネージャー)等の協力を得て事業の周知を図っていますが、令和2年度末の登録者数は、前年比5人減の117人となりました。</p> <p>◆認知症初期集中支援チームにより、5件のケースについて早期段階での支援を行いました。</p> <p>◆避難行動要支援者の個別支援計画について、令和元年度に作成したものを、要支援者、支援者、地区振興会へ送付するとともに、27件の個別支援計画の更新を行いました。</p> <p><高齢者見守りネットワーク推進事業></p> <p>◆福祉推進員の研修会や各地区でのケア会議を側面から支援し、地域での見守り支援体制の強化につながりました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①地域福祉活動支援】</p> <p>◆核家族化や少子化の進展に伴い、地域住民相互の社会的つながりも希薄化しているため、民生委員・児童委員等の地域福祉関係者の負担感が相当重くなっています。そのため、地域のつながりを大切にしたい助け合いや支え合いを民生委員・児童委員が中心になって担うほか、例えばライフラインを扱う事業所との連携も視野に入れつつ地域共生社会の構築を進める段階にあります。また、令和4年12月1日の民生委員一斉改選に向け、担い手の確保についても地域と連携し取り組んでいきます。</p> <p>【②見守り支援体制の確立】</p> <p>◆引き続き認知症サポーター養成講座を開き、認知症に関する知識の普及に努めるとともに、地域ケア会議や認知症初期集中支援チームの活用を通じて認知症への対応力を高めます。</p> <p>◆避難行動要支援者の個別支援計画に基づく訓練の実施や対象者情報の更新を行います。また、見守り対象高齢者に加えて重度の障がい者や高い要介護度の方の個別支援計画についても、市が主体となって計画策定を進めます。</p>			